

# 社会を作る学びⅡ

科目ナンバリング SOE-302  
選択 2単位

丹間 康仁

## 1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、社会における人間の働き方や生き方をテーマに、グローバル化が進むなかで経済成長を問い直す学びのプロセスについて探究する。社会を作る学びには、問題解決への主体的な関わりを通して、既存の価値観や行動を変容させる自己教育のプロセスがみられる。社会の客体から主体へと人間が成長するプロセスを支える社会教育の理論に基づき、ポスト資本主義社会を射程に入れた学習と教育のあり方について、自らテーマを設定し研究を行う。

## 2. 授業の到達目標

- ① 学習と教育の視点から、生活や労働をめぐる現代的な課題に関心を持つことができる。
- ② 社会とかがかわる教育実践や学習支援の事例を踏まえて、社会教育の意義を理解できる。
- ③ 社会を作る学びの実例について、自らの考えや主張を論理的に表現することができる。

## 3. 成績評価の方法および基準

授業への出席を前提とし、以下の①～③の合計に基づき成績評価を行う。

- ① グループワークへの貢献: 20%
- ② 課題研究プレゼンテーション: 40%
- ③ 社会教育参加レポート: 40%

## 4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは指定しない。参考図書は内容に応じて紹介する。

## 5. 準備学習の内容

- ① 講義で紹介した実践事例について、専門誌やウェブサイトからさらなる情報を収集する。
- ② 現代社会の変化を捉えるため、新聞、雑誌、新書、専門書、インターネットを主体的に活用する。

## 6. その他履修上の注意事項

- ① 通常の開講曜日・時間以外に、学外授業として土日等を使って社会教育の現場に参加する。参加にあたって交通費と昼食代等が必要になる。初回授業でスケジュールを調整するため、日程や費用を必ず確認したうえで履修してください。
- ② 履修者の経験や発想を活かした講義にするため、能動的に参加する。
- ③ グループワークでは、メンバーで協力しあい、互いの考えに学びあいながら、課題に取り組む。
- ④ 生涯学習・社会教育学に関する専門科目であるため、関連科目として「生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ」や「キャリアデザインと教育」を既に履修しているか同時に履修することが望ましい。また、「社会を作る学びⅠ」の続編であるため、Ⅰを既に履修しているか次年度以降にあわせて履修することが望ましい。

## 7. 授業内容

- |        |                   |
|--------|-------------------|
| 【第1回】  | イントロダクション         |
| 【第2回】  | 社会を問い直す学びの展開      |
| 【第3回】  | 社会を作る生活学習の実践と理論   |
| 【第4回】  | 働き方をめぐる現代的な課題     |
| 【第5回】  | ワーク・ライフ・バランスと社会教育 |
| 【第6回】  | ディスカッション(1)       |
| 【第7回】  | 社会的排除をめぐる現代的な課題   |
| 【第8回】  | 市民活動・ボランティアと社会教育  |
| 【第9回】  | 家族と子育てをめぐる現代的な課題  |
| 【第10回】 | 孤立する育児と親の学習支援     |
| 【第11回】 | ソーシャル・キャピタルと社会教育  |
| 【第12回】 | ディスカッション(2)       |
| 【第13回】 | プレゼンテーション(1)      |
| 【第14回】 | プレゼンテーション(2)      |
| 【第15回】 | まとめ               |